

元気で  
やさしい  
区政を!

# 北区自民だより やまだ加奈子・区政報告



## 平成26年第一回定例会 本会議質問・予算特別委員会で質疑



### 本会議質問

#### ■西ヶ原密集事業

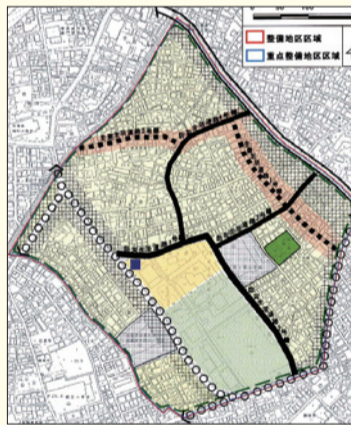
平成17年度から10年間で事業計画されている西ヶ原密集事業について、事業期間残り一年となり以下の点を区長に対し質問、要望いたしました。

- ①事業のこれまでの総括と区としての評価
- ②地域、地権者に事業推進に向け、これまで以上の積極的で丁寧な働きかけが必要だと考えるが、その取り組みについて
- ③東京都や国に対し、事業の延伸や対象範囲の見直しを求めていくなど、その方針と現状について
- ④木密地域不燃化10年プロジェクト不燃化特区申請も視野に入れた積極的な取り組みが必要だと考えるが、区への考えについて
- ⑤代替地の確保、広場づくり、防災性機能向上に向けた協働施設の設置、広域避難場所、防災公園としてみんなの公園の防災機能の充実。

などを要望いたしました。

これに対し、区は国や東京都に事業の期間延伸、範囲の拡大見直し等を申請、また4月からは民間事業者へ委託し、事業の推進が図られるなど、進展をしています。

#### 西ヶ原密集事業範囲地図



#### ■北区オリジナルの 少子化対策、子育て支援

「子育てするなら北区が一番」を目指し、重点戦略の一つとして、様々な取り組みがなされているが、少子化対策と産前産後の取り組み、また切れ目のない子育て支援について更なる充実を求め、以下質問をしました。

- ①妊娠出産への意識喚起、情報発信の取り組みについて
- ②妊娠中と産後の支援の充実について
- ③妊娠出産、子育ての医療連携強化について
- ④産後ケアの現状と充実を求める

区は「北区基本計画2015(案)」の4つの重点戦略の一つ、「子ども」かがやき戦略において、「産前からの切れ目のない子育て支援を強化・推進」していく事が盛り込まれました。



これからも、具体的な施策について区に提案、求めてまいります。

#### ■文化振興とオリンピック

文化振興活動はもとより、区が新たに掲げる「絆づくり」の視点からも、区民文化芸術団体への活動支援が重要であると考え、以下について質問、提案をいたしました。

- ①区民ニーズにこたえられるよう、北区文化芸術振興ビジョンの改定を求める。
- ②文化芸術団体へ、公平でわかりやすいオープンな助成制度と制度的な活動支援について検討すべきである。
- ③東京オリンピック・パラリンピックに向け区内文化団体と協働した取り組みを行い、スポーツ振興と共に北区の文化振興と発信をすべきである。

区は平成27年度、「北区文化芸術振興ビジョン」改定作業を開始。文化芸術団体への支援策見直しは、文化振興財団が検討を進めており、区としても他自治体の状況等を把握し、様々な手法を検討するとの回答が出されました。また、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に北区文化振興財団を初め区内の文化芸術団体と十分連携し、博物館や図書館等の事業も含めて、文化振興の推進について検討していくとの前向きな答弁がありました。



### 予算特別委員会

#### ■情報管理と活用

予算額16億7200万円余が計上されている、「情報管理費」を大きく3点

- ①内部情報系システム
- ②住民情報系システム(基幹系システム)
- ③情報行政と北区情報化基本計画に分け質疑。各事業概要はシステム基盤整備やソフト運用、セキュリティー等、情報の管理が主な内容であるが、まずその運用が適正、有効なものか、特定システム等改善点を指摘し、また、情報をシステム管理するだけではなく、情報を区の資産として捉え、IT戦略など「情報行政」という発想を持ち、行政情報の共有化、横断化による活用で効果的な政策立案に繋げていけるよう、組織の再編も含め全庁的な取り組みを求めました。



#### ■放置自転車対策

これまで自民党議員団は、放置自転車対

策として、各駅周辺の自転車駐車場整備を求めて参りました。

合わせて今回はハード整備以外の観点で以下について質疑、要望をいたしました。

- ①自転車誘導員委託
- ②モラルの啓発活動
- ③自転車駐車場の柔軟な利用料金制度導入

区からはこれまで以上に地域や事業者と連携し、啓発活動を工夫していくこと、また柔軟な利用料金制度については、平成27年4月より王子駅明治通り自転車駐車場と赤羽駅南口第三自転車駐車場において、初めの2時間が無料と変更される事になり、駅周辺でのお買い物客の利便性向上と放置自転車対策がなされました。



#### ■中学校部活動

少子化により中学校生徒数と教員数が減り、部活動の維持等に様々な課題が指摘されている。平成24年度代表質問でその課題と対応について取り上げ、「部活動のあり方検討会」が設置されました。1年が経過し、その後の区の対応と今後について質疑、要望をいたしました。

- ①「部活動のあり方検討会」の経過
- ②部活動ガイドラインの策定
- ③外部指導員の研修、処遇について

部活動の様々な課題を学校だけの問題とせず、教育委員会として区全体の課題と捉え、ガイドラインの策定など解決に向けた取り組みを求めました。また外部指導員の指導時間数が今年度は337時間から576時間と大幅に予算が増加され、活動の支援が図られました。



### ご相談ください

まちづくり、子育て、介護、経営...などなど、様々なご相談、ご要望を頂いております。皆様のお声を今後の区政運営、制度づくりに繋げてまいります。



区民の期待へ決意を新たに  
政策実行力の自民党議員団